

プリオン病サーベイランスで検討した周期性脳波異常の診断

研究分担者：所属財務省・財務省診療所 黒岩義之

研究分担者：杏林大学病態生理 寺尾安生

脳機能連結ネットワークによるプリオン病の特徴付け： プリオン病サーベイランス委員会で得られた脳波データの の統計解析研究続報

実験手法

2/24

被験者 健常高齢者6名、認知症患者33名、プリオン病患者2名

計測条件

仰臥で安静・閉眼時の脳波計測

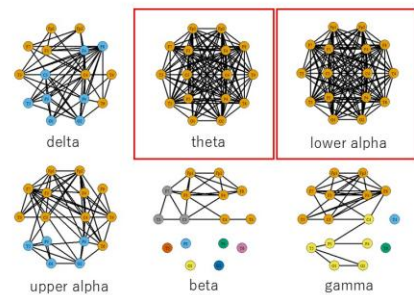
電極数 16 ch + 基準電極(A1, A2)

基準電極との電位差を計測

サンプリング周波数 500 Hz



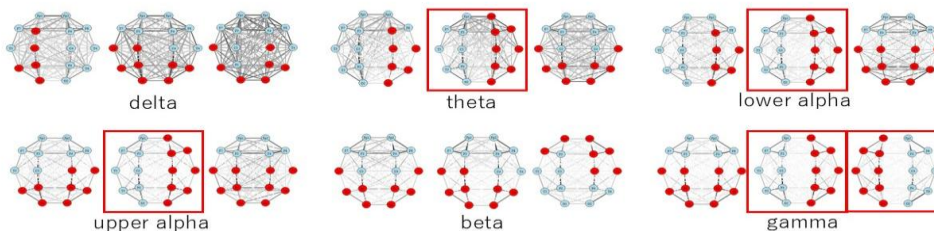
結果



結果

7/24

Brain Functional Connectivity Network (BFCN)



左：健常高齢者 中央：認知症患者 右：プリオン病患者

解 説

まとめ

27/24

認知機能不全の傾向

認知症患者 4つの周波数帯

(theta、lower alpha、upper alpha、gamma)

プリオン病患者 gamma

➤プリオン病の識別可能性

今後の展望

28/24

被験者の脳波データを増やす

プリオン病患者において少ない

同様に解析し結果を得る

局所的、大域的な接続性のより詳細な比較

SL値の比較

モジュール分割のより詳細な分析